

資料編

1. 調査団員・氏名.....	A-1
2. 調査工程	A-3
3. 関係者(面談者)リスト.....	A-7
4. 当該国の社会経済状況(国別基本情報抜粋)	A-9
5. 討議議事録(基本設計調査)	A-11
6. 技術的協議メモ(基本設計調査)	A-33
7. 事前評価表	A-41
8. 参考資料 / 入手資料リスト.....	A-51
9. 資機材配布表.....	A-53
10. 抗結核薬必要量の算定.....	A-71
11. サイト視察結果.....	A-75

1. 調査団員・氏名

添付資料1.

調査団員・氏名

基本設計調査団－1

徳川 浩一	総括	外務省経済協力局無償資金協力課 課長補佐
迫井 正深	保健医療政策	厚生省大臣官房国際課 課長補佐
森 亨	結核対策1	(財)結核予防会 結核研究所 所長
牧本 小枝	計画管理	JICA無償資金協力部業務第二課

基本設計調査団－2

須知 雅史	結核対策2	(財)結核予防会 結核研究所 国際協力部 企画調査科 科長
石田 賢司	業務主任	アイテック株式会社
鈴木 一代	機材計画	アイテック株式会社
張 建定	積算・調達	アイテック株式会社
田中 美佐子	通訳 (中国語)	アイテック株式会社

尚、調査団－1には、連携・調整のためWHO西太平洋地域事務局より佐藤芳邦メディカルオフィサーが現地合流した。

2. 調査行程

基本設計調査－1

調査行程

日順	月日 担当 担当者名 期間	総括 徳川 浩一 6日間	保健医療政策 迫井 正深 5日間	結核対策1 森 亨 7日間	計画管理 牧本 小枝 7日間	団員
1	11/12 日	JL781:成田発(10:40)→北京着(13:40)／徳川、森、牧本 NH159:関西発(11:50)→北京着(13:10)／迫井 15:00 通訳との打合せ				北京 4人
2	11/13 月	10:00 JICA事務所打合せ 11:00 WHO表敬 14:00 大使館表敬 15:00 WHOとの協議				北京 4人
3	11/14 火	9:00 経貿部表敬 10:00 衛生部との協議 16:30 WHO、世銀、DFIDとの協議				北京 4人
4	11/15 水	7:50 近隣地域の結核対策視察				北京 4人
5	11/16 木	9:00 / 14:00 衛生部との協議 NH906:北京発(14:50)→成田着(19:00)／迫井 18:00 衛生部国際合作司長主催宴会 19:30 ミニッツ署名				北京 4人
6	11/17 金	9:00 JICA事務所報告 10:00 大使館報告 午後：調査団2についての打合せ JAL782:北京発(15:00)→成田着(19:05)／徳川				北京 3人
7	11/18 土	JAL782:北京発(15:00)→成田着(19:05)／森 CA101:北京発(7:50)→香港着(10:50)／牧本				北京 2人

基本設計調査-2

調査行程

日順	月日	担当 担当者名 期間	結核対策2 須知雅史 20日間	業務主任 石田 賢司 28日間	通訳 (中国語) 田中 美佐子 28日間	機材計画 鈴木 一代 26日間	調達計画/積算 張 建定 23日間	コンサル 団員
1	11/27	月	JL781:成田発(10:40)→北京着(13:40) 16:00 JICA表敬打ち合わせ					北京 4人
2	11/28	火	9:30 日本大使館表敬及び打ち合わせ 11:00 経貿部表敬 14:00 WHO表敬打ち合わせ					北京 4人
3	11/29	水	午前:衛生部・WHOインセプションレポートの説明・質問書提出 午後:移動 → SZ4104:北京発(16:30)→四川着(18:55)					北京 4人
4	11/30	木	午前:四川省衛生庁協議、調査日程調整 午後:四川省結核病防治所視察・協議					四川 4人
5	12/1	金	午前:移動 成都市 → 眉山市洪雅県 午後:洪雅県結核病防治所視察・協議 洪雅県泊					四川 4人
6	12/2	土	午前:移動 天宮郷衛生院視察 午後:移動 樂山市峨边イ族自治州 衛生防疫站視察・協議 峨边県泊					四川 4人
7	12/3	日	午前:峨边県防疫站協議 移動 宣坪郷桐花村衛生站視察 午後:移動 峨边 → 成都(製薬会社訪問) 成都泊					四川 4人
8	12/4	月	午前:団内会議 午後:成都市結核病防治院視察					四川 4人
9	12/5	火	午前:四川省衛生庁協議 午後:移動 → CA1408:四川発(17:20)→北京着(19:40)					四川 4人
10	12/6	水	午前:衛生部・WHO協議 午後:世銀協議 JICA安全注射プロジェクト専門家と協議					北京 4人
11	12/7	木	午前:衛生部・WHO協議 午後:衛生部・WHO協議					北京 4人
12	12/8	金	午前:移動 → CA1403:北京発(08:25)→雲南着(11:25) 午後:雲南省衛生庁協議					雲南 4人
13	12/9	土	午前:雲南省衛生庁結核病防治所視察 午後:資料整理					雲南 4人
14	12/10	日	午前:団内会議、資料整理 午後:移動 昆明市 → 玉溪市衛生局結核防治所視察 → 思茅地区墨江県泊					雲南 4人
15	12/11	月	午前:雲南省思茅地区墨江県 衛生防疫站視察・協議 午後:移動 墨江県 → 昆明市					雲南 4人
16	12/12	火	午前:MSF代表と協議 午後:団内会議、資料整理					3Q4541:雲南発(08:15) →上海着(10:40) 雲南 3人

調査行程

日順	月日	担当 担当者名 期間	結核対策2 須知雅史 20日間	業務主任 石田 賢司 28日間	通訳（中国語） 田中 美佐子 28日間	機材計画 鈴木 一代 26日間	調達計画/積算 張 建定 23日間	コンサル 団員
17	12/13	水	午前:雲南省衛生庁協議 午後:移動 → CA906:雲南発(17:40) → 北京着(20:40)				薬品、検査試薬 機材市場調査	雲南 3人
18	12/14	木	午前:衛生部・WHO協議 午後:衛生部・WHO協議				CA1558:上海発(14:40) → 北京着(16:40)	北京 3人
19	12/15	金	午前:衛生部・WHO協議 午後:JICA事務所への報告				薬品、検査試薬 機材市場調査	北京 4人
20	12/16	土	北京発→東京着	団内会議、資料整理				北京 4人
21	12/17	日	団内会議、資料整理				北京 4人	
22	12/18	月	衛生部(薬品、検査試薬、機材の仕様協議)				薬品、検査試薬 機材市場調査	北京 4人
23	12/19	火	午前:薬品、検査試薬機材市場調査 午後:衛生部と技術的メモ(案)の協議				JL782:北京発(15:00) →成田着(19:05)	北京 4人
24	12/20	水	薬品、検査試薬機材市場調査					北京 3人
25	12/21	木	午前:薬品、検査試薬機材市場調査 午後:経貿部報告					北京 3人
26	12/22	金	午前:技術的協議メモ署名 午後:日本大使館、JICA事務所へ報告					JL782:北京発(15:00) →成田着(19:05)
27	12/23	土	団内会議、資料整理 市場調査					北京 2人
28	12/24	日	JL782:北京発(15:00)→成田着(19:05)					北京 2人

3. 関係者(面談者)リスト

関係者（面談者）リスト

	氏名	職位	勤務先
(1) 日本側	湯本博信	一等書記官	在中華人民共和國 日本国大使館
	依田泰	一等書記官	在中華人民共和國 日本国大使館
	門脇仁一	二等書記官	在中華人民共和國 日本国大使館
	神谷克彦	副所長	国際協力事業団 中国事務所
	入山霜治	事務所員	国際協力事業団 中国事務所
	芳沢忍	事務所員	国際協力事業団 中国事務所
	何 賓	事務所員	国際協力事業団 中国事務所
	村上仁	E P I 専門家医師	国際協力事業団 中国事務所
	野口奈佳恵	E P I 専門家	国際協力事業団 中国事務所
(2) 中国側	康炳健	副処長	対外貿易経済合作部 国際經貿關係司
	謝 城	官員	対外貿易経済合作部 国際經貿關係司
	楊 澄	官員	対外貿易経済合作部 国際經貿關係司
	劉 培龍	司長	衛生部国際合作司
	高細水	副司長	衛生部国際合作司
	葛麗軍	処長	衛生部国際合作司双辺關係処
	李彦兵	官員	衛生部国際合作司双辺關係処
	宏齊南	官員	衛生部国際合作司双辺關係処
	沈浩	処長	衛生部疾病控制司
	万利亚	処長	衛生部疾病控制司
	王 泚	通訳	衛生部
	端木宏謹	教授	衛生部結核病抑制センター
	鄒級謙	主任医師	衛生部結核病抑制センター
	趙豊曾	主任医師	衛生部結核病抑制センター
	王黎霞	付主任	衛生部結核病抑制センター
	王甦民	主任	衛生部結核病抑制センター
	張本	副主任医師	衛生部結核病抑制センター
	王林		衛生部結核病抑制センター
	胡錫忠	設備官員	衛生部疾病控制司
	陶向榮	副經理	中国儀設備進出口公司
	王在銀	副庁長	四川省衛生庁
	黄曉林	助調研員	四川省衛生庁疾病控制処
	曾華俊	副処長	四川省衛生庁疾病控制処
	許躍忠		四川省衛生庁国際合作処
	趙希杰	処長	四川省衛生庁国際合作処
	肖寧	通訳	四川省衛生庁
	衛邦富	副所長	四川省結核病防治所
	将紹双	副所長	四川省結核病防治所
	吳建林	副所長	四川省結核病防治所
	唐興華	防治科主任	四川省結核病防治所
	饒正遠	副主任	四川省結核病防治所
	馮淑範	業務科	四川省結核病防治所
	熊邦屏	医師	四川省結核病防治所
	曹慧	医師	四川省結核病防治所
	魏心武	副主任医師	四川省成都市衛生局
	劉益民	院長	四川省成都市結核病防治院
	姚曉琴	副院长	四川省成都市結核病防治院
	陳小松	医科長	四川省成都市結核病防治院
	桔小英	総婦長	四川省成都市結核病防治院
	雷蔓	科長	四川省成都市結核病防治院
	周鳳先	科長	四川省成都市結核病防治院
	曾志宏	科長	四川省眉山市衛生局
	王李宏	副主任	四川省眉山市預防保健中心
劉志榮	疾控科長	四川省眉山市預防保健中心	
李文祥	副県長	四川省眉山市洪雅県人民政府	
徐一丹	衛生局長	四川省眉山市洪雅県人民政府	
趙曉勤	衛生局副局長	四川省眉山市洪雅県人民政府	
李士民	副局長	四川省樂山市衛生局	
李竹	副県長	四川省樂山市峨边夕族自治県人民政府	
楊尚榮	局長	四川省樂山市峨边夕族自治県衛生局	
王方雲	站長	四川省樂山市峨边夕族自治県衛生防疫站	
周光武	副站長	四川省樂山市峨边夕族自治県衛生防疫站	
汪萌	主任	雲南省衛生庁外事一	

関係者（面談者）リスト

	氏名	職位	勤務先
	李克林	主任	雲南省衛生庁疾病控制処
	武嗽興	主任	雲南省衛生庁病疫控制処
	王玉昆	参比室主任	雲南省結核疫防治所
	侯榮耀	書記	雲南省結核疫防治所
	張燕	付所長	雲南省結核疫防治所
	李慶生	項目主任	雲南省結核疫防治所
	李爵	防治科長	雲南省結核疫防治所
	盛星明	所長	雲南省結核病防治所
	汪曉紅	通訳	雲南省衛生庁
	楊義	市衛生局長	雲南省玉溪市衛生局
	自成学	市衛生局付局長	雲南省玉溪市衛生局
	李万林	市防疫站付站長	雲南省玉溪市衛生局
	李祖	市防疫站付站長	雲南省玉溪市衛生局
	陳寬亮	市防疫站結核科科長	雲南省玉溪市衛生局
	全進年	市防疫宣伝科付科長	雲南省玉溪市衛生局
	張永信	站長	雲南省思茅地区衛生防疫站
	鄭如成	科長	雲南省思茅地区衛生防疫站
	武献民	副県長	雲南省思茅地区墨江県衛生局
	轍成東	局長	雲南省思茅地区墨江県衛生局
	許枚麗	副局長	雲南省思茅地区墨江県衛生局
	蔡樹光	副局長	雲南省思茅地区墨江県衛生局
	姜文忠	副站長	雲南省思茅地区墨江県衛生防疫站
	錢永生	站長	雲南省思茅地区墨江県衛生防疫站
	高麗	副站長	雲南省思茅地区墨江県衛生防疫站
	陳磊	科長	雲南省思茅地区墨江県衛生防疫站
	刀剥	医師	雲南省思茅地区墨江県衛生防疫站
(3) 国際援助機関側	Dongil Ahn	Regional Adviser	世界保健機関 西太平洋地域事務局
	佐藤芳邦	メディカルオフィサー	世界保健機関 西太平洋地域事務局
	Janos Annus	Representative	世界保健機関 中国駐在代表事務所
	Alan Schnur	Team Leader	世界保健機関 中国駐在代表事務所
	Daniel P. Chin	Country Adviser in TB	世界保健機関 中国駐在代表事務所
	林 岩	Programme Assit. for TB	世界保健機関 中国駐在代表事務所
	Teresa Ho	Lead Health Specialist	The World Bank
	王世勇	衛生専門家	The World Bank
	Jane Haycock	一等書記官	英国大使館
	Margaret Stebbing	Project Coordinator	国境なき医師団 (MSF)
	Martin Rieder	Medical Coordinator	国境なき医師団 (MSF)

4. 当該国の社会経済状況
(国別基本情報抜粋)

4. 当該国の社会・経済事情

国名	中華人民共和国
	The People's Republic of China

一般指標					
国名	中華人民共和国		首都	ペキン（北京、Beijing）	*2
政体	人民民主共和制	*1	主要都市名	上海、天津、重慶、成都、石家荘、武漢	*3
元首	国家主席／江沢民（JIANG Zemin）	*1.3	雇用総数	743,160 千人（1998年）	*6
独立年月日	1949年10月1日（中華人民共和国成立）	*3.4	義務教育年数	9年間	*13
主要民族／部族名	漢民族92%、その他55の少数民族	*1.3	初等教育就学率	122.7 %（1997年）	*6
主要言語	中国語、各種方言、少数民族語	*1.3	中等教育就学率	70.1 %（1997年）	*6
宗教	仏教、回教、キリスト教等	*1.3	成人非識字率	15.0 %（2000年）	*13
国連加盟年	1945年10月24日	*12	人口密度	132.81 人/km ² （1998年）	*6
世銀加盟年	1945年12月	*7	人口増加率	1.3 %（1980年）	*6
IMF加盟年	1996年1月	*7	平均寿命	平均 69.80 男 67.90 女 72.00	*6
国土面積	9,600.00 千km ²	*6	5歳児未満死亡率	36/1000（1998年）	*6
総人口	1,238,599 千人（1998年）	*6	カロリー供給量	2,844.0 cal/日/人（1996年）	*10

経済指標					
通貨単位	元		貿易量	（1997年）	
為替レート	1US\$=8.27（2000年12月）	*8	商品輸出	182,670 百万ドル	*15
会計年度	Dec. 31	*6	商品輸入	-136,448 百万ドル	*15
国家予算	（1996年）	*9	輸入カバー率	9.5（月）（1997年）	*14
歳入総額	372.98 十億元	*9	主要輸出品目	繊維・同製品、機械電気製品、石油・同製品	*1
歳出総額	540.65 十億元	*9	主要輸入品目	工業用機械、自動車、通信機器	*1
総合収支	35,857 百万ドル（1997年）	*15	日本への輸出		*16
ODA受取額	2,358.9 百万ドル（1998年）	*18	日本からの輸入		*16
国内総生産（GDP）	959,030.03 百万ドル（1998年）	*6			
一人当たりGNP	750.0 ドル（1998年）	*6	粗外貨準備額	0.2 百万ドル（1998年）	*6
GDP産業別構成	農業 18.4 %（1998年）	*6	対外債務残高	154,599.2 百万ドル（1998年）	*6
	鉱工業 48.7 %（1998年）	*6	対外債務返済率（DSR）	8.6 %（1998年）	*6
	サービス業 32.9 %（1998年）	*6	インフレ率 （消費者価格物価上昇率）	11.3 %（1990-98年）	*6
産業別雇用	農業	*6			
	鉱工業	*6			
	サービス業	*6	国家開発計画		*11
実質GDP成長率	11.2 %（1990年）	*6			

*4.5

気象（1961年～1990年 平均）													観測地：北京（北緯39度56分、東経116度17分、標高55m）	
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計	
降水量	2.7	5.9	9.1	26.5	28.8	70.8	175.7	182.1	48.8	19.0	6.2	2.3	577.9	mm
平均気温	-4.3	-1.9	5.1	13.6	20.0	24.2	25.9	24.6	19.6	12.7	4.3	-2.3	11.8	℃

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> *1 各国概況（外務省） *2 世界の国々一覧表（外務省） *3 世界年鑑2000（共同通信社） *4 最新世界各国要覧10訂版（東京書籍） *5 理科年表2000（国立天文台編） *6 World Development Indicators 2000 *7 The World Bank Public Information Center, International Financial Statistics Yearbook 1998 *8 Universal Currency Converter | <ul style="list-style-type: none"> *9 Government Finances Statistics Yearbook 1998（IMF） *10 Human Development Report 1999（UNDP） *11 Country Profile（EIU）, 外務省資料等 *12 United Nations Member States *13 Statistical Yearbook 1999（UNESCO） *14 Global Development Finance 1999（WB） *15 International Finances Statistics 1999（IMF） *16 世界各国経済情報ファイル1999（日本貿易振興会） <p>注：商品輸入については、複式簿記の計上方式を採用しているため
支払い額はマイナス標記になる。</p> |
|--|---|

当該国の社会・経済事情

*17

我が国におけるODAの実績				
(資金協力は約束額ベース、単位：億円)				
項目 \ 年度	1995	1996	1997	1998
技術協力	73.74	98.90	103.82	98.30
無償資金協力	4.81	20.67	68.86	62.30
有償資金協力	1,414.29	1,705.11	2,029.06	2,065.83
総 額	1,492.84	1,824.68	2,201.74	2,226.43

*17

当該国に対する我が国ODAの実績				
(支出純額、単位：百万ドル)				
項目 \ 年度	1995	1996	1997	1998
技術協力	304.75	303.73	251.77	301.62
無償資金協力	83.12	24.99	15.42	38.22
有償資金協力	992.28	533.01	309.66	818.33
総 額	1,380.15	861.73	576.86	1,158.16

*18

OECD諸国の経済協力実績					
(支出純額、単位：百万ドル)					
	贈 与 (無償資金協力・ 技術協力) (1)	有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1)+(2)=(3)	その他政府 資金及び民 間資金(4)	経済協力総額 (3)+(4)
二 国 間 援 助 (主要供与国)	699.6	1,032.0	1,731.6	2,877.7	4,609.3
1. 日本	339.8	818.4	1,158.2	-189.3	968.9
2. ドイツ	135.4	185.9	321.3	1,203.4	1,524.7
3. イギリス	55.0	0.4	55.4	916.4	971.8
4. カナダ	46.1	6.2	52.3	131.0	183.3
多 国 間 援 助 (主要援助機関)	72.8	566.7	639.5	1,863.8	2,503.3
1. IDA			553.8	0.0	553.8
2. EC			21.7	7.4	29.1
そ の 他	3.0	-15.2	-12.2	0.0	-12.2
合 計	775.5	1583.4	2,358.9	4,741.6	7,100.5

*19

援助受入窓口機関	
技術協力	関係各省庁 → 科学技術部国際合作司アジアアフリカ処
無 償	関係各省庁 → 対外貿易経済合作部国際経貿関係司第6処
協力隊	関係各省庁 → 科学技術部

*17 我が国の政府開発援助1999(国際協力推進協会)

*18 International Development Statistics
(CD-ROM) 2000 OECD

*19 JICA資料